

新幹事になって

東京秋工会 幹事
加藤 幸夫
(昭和36年機械科卒)



先輩の逝去、バブル不況、等々で東京秋工会との連絡が途絶えてしまったのでした。

*東京秋工会と再会

そして40数余年の時を経て東京秋工会との再会はどんな経緯で果されたのか、それは2007年の春に行われたM36卒同級会の席で当時東京秋工会の副幹事長をしていた工藤良氏と伊藤昭氏による熱意溢れる東京秋工会の紹介と入会の勧めに、M36同級生だけで12名も入会した。この経緯は東京秋工会会報《KANASA 2008VOL.16》に寄稿された斎藤隆氏の、題して「M36ミニ同級会」に詳しく紹介されていますので再読いただければ幸いです。

小生は一度入会していたとはいえ、40数余年を経て東京秋工会への入会であるが全くの新入会員と同等で何か懐かしさを覚えました。それは既会員の皆様が我々を旧知の同窓生のように迎えて頂けたことでは無いでしょうか、入会後の初行事参加がゴルフ大会であり、大会に於いてM36メンバーの活躍（小生を除いて）がゴルフ会員の方々に強烈に印象付けたのも一因かもしれません。2007年の東京秋工会総会にM36同級生12名が出席して、伊藤昭氏のリーダーによる壇上でのにわか応援団化と、背中を推して頂いた三平会長様はじめ、幹部諸氏の暖かい支援が40数余年の年月を一気に昇華させたものと思います。

*幹事をやれと

2010年の初夏にM36同級生の伊藤昭氏から、東京秋工会の幹事を引き受けるようにとの連絡があって、聞けば副幹事長の工藤良氏が体調を崩されたとの事で、M36卒の幹事が伊藤氏一人であるので是非東京秋工会のためにとの話でした。

新入会員同然の小生が幹事など勤まるべくもないからお断りし

*プロローグ

もう50年も前になるか、右も左も分らず東京にやって来て、就職した小さな会社にも秋田工業卒業の大先輩がいて、職場で睨みを利かせ、その下には本校卒の若い先輩が5~6人居って、高校時代の様な先輩、後輩の世界が成り立っていた。先輩が中心となって秋田県人会が結成されて、会社の中では仕事は勿論、飲むほうでも注目される集団でした。

先輩にラグビー部員が居り、親会社のラグビー部員のメンバーでもあった。その先輩の話から「東京秋工会」という東京圏に住む秋田工業高校卒業生の同窓会があることを知って、会社の秋工同窓生は入会した。会社も理解を示し、ラグビー部全国大会出場のおりには快諾して寄付をくれたものである。これも本校卒大先輩の威光であったでしょう。

東京秋工会に入会したものの小生は総会等に一度も出席しないまま時が過ぎた。当時の総会の様子を知る由も無いが、若い会員の出席が少なく話合わないから行かない等と聞いて、怖気付いていたのは記憶として残っている。また仕事、結婚、転居、大

ようかと考えていたが、M36会員がお世話になっており、足手まといは覚悟の上で東京秋工会に少しでもお手伝いできればと、思い直してこの件を引き受けることにしました。

*東京秋工会幹事になって

ようやく主題の「東京秋工会幹事になって」ができました。なにしろ幹事になって日が浅いものですから、そんなに書く事柄が無いのです。初仕事は東京秋工会会報2010KANASAの袋詰め作業でした。幹事の方々が2000部余りの会報を発送できるまで組織的に、手際よく行う様は、さすが年季の入ったものです。作業を終えて、ご苦労さん会では初幹事として紹介されて、親しく楽しい時間を過ごさせて頂きました。

次は記念総会の打ち合わせで、当日は来賓のご案内役を仰せつかりましたが、来賓のお名前も分らずで右往左往するだけ、名譽会長澤木誠一様、副会長地主勝己様にお任せの状態で、もっと若い者に任せたらとの声も承知していましたが、やアー良くいらっしやった元気かなどと顔を見ての歓迎は、永年のキャリアでないと、とても勤まらない世界でありました。

幹事会の次の仕事は2011年のKANASA編集会議です、がこの会議には一度しか出席できていません。新人幹事でありながら出席率が悪いのは大変申し訳ないことです。言い訳になりますが、いろいろな行事と日程が重複してしまうのです。どうしても出席が必要な方を優先せざるを得ない状態です。東京秋工会は組織が大きく、人材も豊富で見習うべき点がたくさんあります。三平会長様はじめ各幹事諸氏の東京秋工会に注ぐ時間、情熱は並々ならぬものがあります。とてもまねが出来ません。その情熱によって東京秋工会が支えられていることをひしひしと感じます。

*エピローグ

幹事として何の仕事も出来ていない状態ですが、経験を積みながら少しでも役に立てればと思っております。今後東京秋工会の維持、発展のために新入会員増を願ってやみません。

秋田暮らしをお考えのあなたを全力で支援します
「ようこそ秋田」会員大募集中!
※ご登録いただいた方には下記のサービスをご提供します。(無料)

- 1 あなたの移住ニーズ（いつ・どこに・どんなライフスタイルで、何をしたいのか）に対応する情報を定期的にお届けします。
- 2 県・市町村の移住促進のためのプロジェクト情報、協賛企業・団体の優待情報などを毎月お届けします。
- 3 移住者のネットワークやNPO、活動団体をご紹介します。
- 4 ご登録いただいでいて移住を決定された方は、当会協賛企業・団体の優待サービスをご利用いただけます。

登録はコチラ!

「ようこそ秋田移住促進会議」は秋田への「Uターン・Iターン」の促進を目的に、秋田県からの業務委託を請け負っている非営利の民間団体です。

<http://www.a-iju.jp>

ようこそ秋田移住促進会議 | Tel: 018.893.3981 / Fax: 018.893.3982
 秋田県秋田市山王中園町11番7号 八幡第一ビル1階 | E-mail: yokoso@a-iju.jp

WASHIYA PROMOTION イベントや企業パーティーなど ★全国どこでもタレント派遣します★

有限会社ワシヤプロモーション

代表取締役 鷺谷 透 (昭和56年機械科卒)

OFFICE/〒330-0845 埼玉県さいたま市大宮区仲町1-29 第2柴田ビル3F
 TEL/048-649-8993 FAX/048-647-0073
 URL: <http://www.washiyapro.com/> E-mail: hibiki@washiyapro.com

東京・新橋でふるさとの家庭料理を!

馬刺、とうふのみそ漬、辛子レンコンなど懐かしい郷土の逸品と、種類も豊富な球磨焼酎があなたをお待ちしております。

大岩 禎子 (熊本県出身)

居酒屋 扇里 TEL. 03-3580-8974 〒105-0004 東京都港区新橋2-16-1 ニュー新橋駅ビルB1

秋田への就職・定住応援します!

Aターンプラザ秋田

「Aターンプラザ秋田」では、秋田県内の求人・住宅等各種各種情報の提供や、Aターン就職に関する相談を行っております。どうぞご利用ください。

開庁時間/平日9時~17時45分
 休日/土・日・祝日・年末年始
 フリーダイヤル/0120-122-255
 所在地/東京都千代田区平河町2-6-3
 都道府県会館7階
 秋田県東京事務所内

●地下鉄有楽町線永田町駅 5出口から連絡通路を経て徒歩1分

●Aターンに係る各種イベント等の情報は、(財)秋田県ふるさと定住機構のホームページをご覧ください。
<http://www.furusato-teiju.jp/>

●「秋田県定住支援総合情報」もご覧ください。
<http://www.pref.akita.lg.jp/teiju/>